



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 フィデアホールディングス株式会社
 コード番号 8713 URL <http://www.fidea.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 里村 正治
 (氏名) 宮下 典夫
 TEL 022-290-8800
 特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	42,286	12.0	11,718	28.7	8,367	13.7
27年3月期第3四半期	37,734	△0.3	9,101	12.8	7,355	46.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,410百万円 (△93.5%) 27年3月期第3四半期 22,042百万円 (213.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	50.77	39.68
27年3月期第3四半期	51.27	33.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,986,027	114,643	3.7
27年3月期	2,831,229	109,029	3.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 113,261百万円 27年3月期 107,650百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	24.2	10,000	30.5	59.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	172,876,651 株	27年3月期	147,876,654 株
28年3月期3Q	20,506 株	27年3月期	16,761 株
28年3月期3Q	164,804,435 株	27年3月期3Q	143,450,468 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は次のとおりです。

B種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	5.28	5.28
28年3月期	—	—	—		
28年3月期（予想）				5.13	5.13

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
4. (参考) 個別業績の概況 (株式会社 荘内銀行)	7
5. (参考) 個別業績の概況 (株式会社 北都銀行)	10
6. 四半期決算補足説明資料	
○ 平成28年3月期 第3四半期決算短信 説明資料	
○ 平成28年3月期 (平成27年度) 第3四半期 決算概要について	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績や雇用情勢が支えとなり、緩やかな回復基調が続きました。また、当社グループの主たる営業エリアである東北地方は、一部に弱い動きがみられるものの、復興関連を中心に公共投資や住宅着工が引き続き高水準を維持し、雇用環境も改善するなど、緩やかな持ち直し傾向が続きました。

このような状況下で、当第3四半期連結累計期間の経営成績のうち連結経常収益は、資金運用収益の増加等により前年同期比45億52百万円(12.0%)増加の422億86百万円となりました。一方、連結経常費用は、資金調達費用の増加等により前年同期比19億35百万円(6.7%)増加の305億68百万円となりました。その結果、連結経常利益は前年同期比26億16百万円(28.7%)増加の117億18百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比10億12百万円(13.7%)増加の83億67百万円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、株式会社荘内銀行(以下、「荘内銀行」)単体の経営成績は、経常収益が前年同期比21億10百万円(11.3%)増加の207億13百万円、経常利益が前年同期比10億63百万円(23.1%)増加の56億47百万円、四半期純利益が前年同期比5億38百万円(18.5%)増加の34億40百万円となりました。一方、株式会社北都銀行(以下、「北都銀行」)単体の経営成績は、経常収益が前年同期比23億91百万円(13.6%)増加の198億98百万円、経常利益が前年同期比16億3百万円(42.7%)増加の53億49百万円、四半期純利益が前年同期比5億10百万円(13.0%)増加の44億14百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループ連結の主要勘定残高のうち、預金等(譲渡性預金を含む)の当第3四半期連結会計期間末残高は、個人及び公金を中心に前連結会計年度末比1,861億円(7.4%)増加し2兆6,756億円となりました。貸出金の当第3四半期連結会計期間末残高は、個人ローン及び地方公共団体向けを中心に前連結会計年度末比423億円(2.4%)増加し1兆7,618億円となりました。有価証券の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比406億円(4.0%)増加の1兆375億円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、荘内銀行単体の預金等(譲渡性預金を含む)の当第3四半期会計期間末残高は前事業年度末比769億円(5.8%)増加の1兆3,885億円、貸出金の当第3四半期会計期間末残高は前事業年度末比222億円(2.3%)増加の9,571億円、有価証券の当第3四半期会計期間末残高は前事業年度末比329億円(6.5%)増加の5,345億円となりました。一方、北都銀行単体の預金等(譲渡性預金を含む)の当第3四半期会計期間末残高は、前事業年度末比1,030億円(8.6%)増加の1兆2,952億円、貸出金の当第3四半期会計期間末残高は前事業年度末比201億円(2.5%)増加の8,211億円、有価証券の当第3四半期会計期間末残高は前事業年度末比77億円(1.5%)増加の5,031億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、重要な子会社の異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来連結子会社であった北都チャレンジファンド1号投資事業組合については、事業規模の縮小により重要性が低下したため連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（「企業結合に関する会計基準」等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下、「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下、「連結会計基準」という。）、及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下、「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
現金預け金	64,373	128,100
買入金銭債権	3,545	3,946
商品有価証券	113	93
金銭の信託	5,065	7,856
有価証券	996,880	1,037,580
貸出金	1,719,508	1,761,817
外国為替	2,330	3,910
その他資産	8,784	11,102
有形固定資産	24,394	24,690
無形固定資産	3,722	3,148
退職給付に係る資産	1,428	1,323
繰延税金資産	803	778
支払承諾見返	15,073	16,795
貸倒引当金	△14,795	△15,117
資産の部合計	2,831,229	2,986,027
負債の部		
預金	2,362,702	2,464,924
譲渡性預金	126,814	210,719
コールマネー及び売渡手形	53,045	-
債券貸借取引受入担保金	48,523	111,040
借入金	64,300	40,100
外国為替	0	15
社債	10,000	5,000
新株予約権付社債	5,100	-
その他負債	23,391	12,950
退職給付に係る負債	2,858	2,611
睡眠預金払戻損失引当金	591	437
偶発損失引当金	476	286
その他の引当金	35	33
繰延税金負債	8,715	5,900
再評価に係る繰延税金負債	571	568
支払承諾	15,073	16,795
負債の部合計	2,722,200	2,871,383
純資産の部		
資本金	15,450	18,000
資本剰余金	25,194	27,757
利益剰余金	34,652	42,154
自己株式	△3	△4
株主資本合計	75,293	87,907
その他有価証券評価差額金	31,750	24,649
繰延ヘッジ損益	△3	△1
土地再評価差額金	1,111	1,106
退職給付に係る調整累計額	△501	△401
その他の包括利益累計額合計	32,357	25,353
非支配株主持分	1,378	1,382
純資産の部合計	109,029	114,643
負債及び純資産の部合計	2,831,229	2,986,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
経常収益	37,734	42,286
資金運用収益	26,281	28,944
(うち貸出金利息)	19,056	18,402
(うち有価証券利息配当金)	7,193	10,507
役務取引等収益	7,317	7,275
その他業務収益	1,965	2,519
その他経常収益	2,169	3,547
経常費用	28,632	30,568
資金調達費用	2,271	2,833
(うち預金利息)	1,774	2,212
役務取引等費用	2,302	2,415
その他業務費用	511	1,360
営業経費	22,422	22,030
その他経常費用	1,123	1,928
経常利益	9,101	11,718
特別利益	1	1
固定資産処分益	1	1
特別損失	57	344
固定資産処分損	25	335
減損損失	32	8
税金等調整前四半期純利益	9,045	11,374
法人税、住民税及び事業税	1,467	2,456
法人税等調整額	193	505
法人税等合計	1,660	2,961
四半期純利益	7,385	8,412
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,355	8,367

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	7,385	8,412
その他の包括利益	14,657	△7,001
その他有価証券評価差額金	14,468	△7,104
繰延ヘッジ損益	3	2
退職給付に係る調整額	185	100
四半期包括利益	22,042	1,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,010	1,369
非支配株主に係る四半期包括利益	32	40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、資本金が2,550百万円、資本剰余金が2,550百万円増加しております。

主にこの影響により、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は18,000百万円、資本剰余金は27,757百万円となりました。

4. (参考) 個別業績の概況 (株式会社 荘内銀行)

平成28年2月9日

会 社 名 株式会社 荘内銀行
 代 表 者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 國井 英夫 URL <http://www.shonai.co.jp/>
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 宇野 寿人 TEL 023-626-9006

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

○ 平成28年3月期第3四半期の個別業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	20,713	11.3	5,647	23.1	3,440	18.5
27年3月期第3四半期	18,602	0.2	4,583	6.6	2,901	8.1

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,566,846	66,512	4.2
27年3月期	1,503,803	63,724	4.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 66,512百万円 27年3月期 63,724百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○ 四半期個別財務諸表 (株式会社 荘内銀行)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
現金預け金	42,669	43,380
買入金銭債権	1,652	1,858
商品有価証券	92	90
金銭の信託	4,065	6,898
有価証券	501,573	534,510
貸出金	934,905	957,151
外国為替	1,786	2,181
その他資産	3,551	5,036
有形固定資産	13,379	13,701
無形固定資産	607	541
前払年金費用	-	1
支払承諾見返	5,054	7,248
貸倒引当金	△5,535	△5,755
資産の部合計	1,503,803	1,566,846
負債の部		
預金	1,217,395	1,272,605
譲渡性預金	94,270	115,963
コールマネー	12,745	-
債券貸借取引受入担保金	25,734	48,759
借入金	57,000	38,300
外国為替	0	15
社債	10,000	5,000
その他負債	8,901	4,773
退職給付引当金	1,218	1,177
睡眠預金払戻損失引当金	115	103
偶発損失引当金	242	125
繰延税金負債	6,829	5,694
再評価に係る繰延税金負債	571	568
支払承諾	5,054	7,248
負債の部合計	1,440,078	1,500,334
純資産の部		
資本金	7,000	8,500
資本剰余金	18,808	20,308
利益剰余金	18,755	21,595
株主資本合計	44,564	50,403
その他有価証券評価差額金	18,052	15,003
繰延ヘッジ損益	△3	△1
土地再評価差額金	1,111	1,106
評価・換算差額等合計	19,160	16,108
純資産の部合計	63,724	66,512
負債及び純資産の部合計	1,503,803	1,566,846

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
経常収益	18,602	20,713
資金運用収益	14,037	15,556
(うち貸出金利息)	10,191	9,891
(うち有価証券利息配当金)	3,828	5,645
役務取引等収益	3,444	3,245
その他業務収益	88	290
その他経常収益	1,032	1,620
経常費用	14,018	15,066
資金調達費用	1,585	1,950
(うち預金利息)	1,151	1,496
役務取引等費用	1,518	1,655
その他業務費用	8	376
営業経費	10,552	10,654
その他経常費用	353	429
経常利益	4,583	5,647
特別利益	20	-
抱合せ株式消滅差益	20	-
特別損失	14	314
固定資産処分損	0	314
減損損失	14	-
税引前四半期純利益	4,589	5,332
法人税、住民税及び事業税	1,290	1,592
法人税等調整額	396	299
法人税等合計	1,687	1,891
四半期純利益	2,901	3,440

5. (参考) 個別業績の概況 (株式会社 北都銀行)

平成28年2月9日

会 社 名 株式会社 北都銀行
 代 表 者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 斉藤 永吉 URL <http://www.hokutobank.co.jp/>
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 伊藤 元範 TEL 018-833-4211

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

○ 平成28年3月期第3四半期の個別業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	19,898	13.6	5,349	42.7	4,414	13.0
27年3月期第3四半期	17,506	2.8	3,746	36.3	3,904	159.9

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,438,289	59,014	4.1
27年3月期	1,346,436	55,703	4.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 59,014百万円 27年3月期 55,703百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○ 四半期個別財務諸表 (株式会社 北都銀行)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
現金預け金	21,728	84,756
買入金銭債権	684	828
商品有価証券	21	3
金銭の信託	1,000	958
有価証券	495,402	503,173
貸出金	801,026	821,127
外国為替	544	1,729
その他資産	4,225	5,187
有形固定資産	14,328	14,255
無形固定資産	2,685	2,210
前払年金費用	1,176	1,083
支払承諾見返	10,038	9,565
貸倒引当金	△6,424	△6,589
資産の部合計	1,346,436	1,438,289
負債の部		
預金	1,149,072	1,195,384
譲渡性預金	43,144	99,856
コールマネー	40,300	-
債券貸借取引受入担保金	22,789	62,281
借入金	12,300	6,800
その他負債	9,239	3,395
睡眠預金払戻損失引当金	476	334
偶発損失引当金	234	161
繰延税金負債	1,842	205
再評価に係る繰延税金負債	1,296	1,291
支払承諾	10,038	9,565
負債の部合計	1,290,732	1,379,275
純資産の部		
資本金	11,000	12,500
資本剰余金	18,499	19,999
利益剰余金	10,307	14,487
株主資本合計	39,807	46,987
その他有価証券評価差額金	13,402	9,541
土地再評価差額金	2,493	2,485
評価・換算差額等合計	15,895	12,026
純資産の部合計	55,703	59,014
負債及び純資産の部合計	1,346,436	1,438,289

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
経常収益	17,506	19,898
資金運用収益	12,445	13,337
(うち貸出金利息)	9,050	8,711
(うち有価証券利息配当金)	3,385	4,614
役務取引等収益	3,266	3,463
その他業務収益	1,148	1,235
その他経常収益	645	1,860
経常費用	13,760	14,548
資金調達費用	762	960
(うち預金利息)	623	716
役務取引等費用	1,031	1,032
その他業務費用	269	447
営業経費	11,194	10,741
その他経常費用	503	1,366
経常利益	3,746	5,349
特別利益	58	1
固定資産処分益	1	1
抱合せ株式消滅差益	57	-
特別損失	49	35
固定資産処分損	23	24
減損損失	25	11
税引前四半期純利益	3,755	5,315
法人税、住民税及び事業税	42	720
法人税等調整額	△191	180
法人税等合計	△148	900
四半期純利益	3,904	4,414

6. 四半期決算補足説明資料

平成28年3月期 第3四半期決算短信 説明資料

1. 損益の状況

(1) フィデアホールディングス【連結】

平成28年3月期第3四半期の連結経常収益は前年同期比45億52百万円増加の422億86百万円（前年同期比12.0%増加）となりました。
 連結経常利益は前年同期比26億16百万円増加の117億18百万円（同28.7%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比10億12百万円増加の83億67百万円（同13.7%増加）となりました。

(単位：百万円)

		平成28年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (A)	平成27年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)
連結経常収益	1	42,286	37,734	4,552
連結粗利益	2	32,130	30,478	1,651
(除く国債等債券損益) = コア業務粗利益	3	(30,974)	(29,476)	(1,498)
資金利益	4	26,110	24,010	2,100
役員取引等利益	5	4,860	5,014	△ 154
その他業務利益	6	1,158	1,453	△ 294
(うち国債等債券損益)	7	(1,155)	(1,002)	(152)
経費 (除く臨時処理分)	8	21,824	22,128	△ 303
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	9	10,305	8,350	1,954
除く国債等債券損益 = コア業務純益	10	9,150	7,347	1,802
①一般貸倒引当金繰入額	11	△ 362	△ 480	118
連結業務純益	12	10,667	8,830	1,836
臨時損益	13	1,050	270	779
②うち不良債権処理額	14	1,656	1,335	321
③うち貸倒引当金戻入益	15	—	—	—
④うち償却債権取立益	16	136	163	△ 26
うち株式等関係損益	17	2,638	988	1,650
連結経常利益	18	11,718	9,101	2,616
特別損益	19	△ 343	△ 56	△ 287
税金等調整前四半期純利益	20	11,374	9,045	2,328
法人税、住民税及び事業税	21	2,456	1,467	989
法人税等調整額	22	505	193	312
法人税等合計	23	2,961	1,660	1,301
四半期純利益	24	8,412	7,385	1,027
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	44	30	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	26	8,367	7,355	1,012
与信関係費用 (①+②-③-④)	27	1,158	691	466

(参考)
平成28年3月期
通期予想値

13,500

10,000

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役員取引等収益 - 役員取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)
 3. 連結業務純益 = 連結粗利益 - 経費 (除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額
 4. 少数株主損益調整前四半期純利益を四半期純利益、少数株主利益を非支配株主に帰属する四半期純利益、四半期純利益を親会社株主に帰属する四半期純利益に表示を変更しております。

(2) 2行合算【単体】

(単位：百万円)

		平成28年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (A)	平成27年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)
経常収益	1	40,611	36,109	4,501
業務粗利益	2	30,714	29,257	1,456
(除く国債等債券損益) = コア業務粗利益	3	(29,559)	(28,294)	(1,265)
資金利益	4	25,991	24,138	1,852
役務取引等利益	5	4,021	4,159	△ 138
その他業務利益	6	702	959	△ 257
(うち国債等債券損益)	7	(1,155)	(963)	(191)
経費 (除く臨時処理分)	8	21,162	21,424	△ 262
人件費	9	10,433	10,035	398
物件費	10	9,475	10,205	△ 730
税金	11	1,252	1,183	69
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	12	9,552	7,833	1,718
除く国債等債券損益 = コア業務純益	13	8,397	6,869	1,527
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 300	△ 457	157
業務純益	15	9,852	8,291	1,561
臨時損益	16	1,143	38	1,105
②不良債権処理額	17	1,506	1,076	430
貸出金償却	18	0	0	△ 0
個別貸倒引当金繰入額	19	1,619	996	622
バルクセール売却損	20	3	△ 3	7
その他の不良債権処理額	21	△ 116	83	△ 199
③貸倒引当金戻入益	22	—	—	—
④償却債権取立益	23	129	151	△ 21
株式等関係損益	24	2,603	1,011	1,592
その他臨時損益	25	△ 82	△ 47	△ 35
経常利益	26	10,996	8,330	2,666
特別損益	27	△ 348	15	△ 363
税引前四半期純利益	28	10,647	8,345	2,302
法人税、住民税及び事業税	29	2,312	1,333	979
法人税等調整額	30	479	205	274
法人税等合計	31	2,792	1,539	1,253
四半期純利益	32	7,855	6,806	1,048
与信関係費用 (①+②-③-④)	33	1,077	467	609

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用 + 金銭の信託見合費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)
 3. 業務純益 = 業務粗利益 - 経費 (除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額

(3) 子銀行【単体】

○ 荘内銀行

平成28年3月期第3四半期の経常収益は前年同期比21億10百万円増加の207億13百万円（前年同期比11.3%増加）となりました。
 経常利益は前年同期比10億63百万円増加の56億47百万円（同23.1%増加）、四半期純利益は前年同期比5億38百万円増加の34億40百万円（同18.5%増加）となりました。

(単位：百万円)

(参考)
平成28年3月期
通期予想値

		平成28年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (A)	平成27年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)
経常収益	1	20,713	18,602	2,110
業務粗利益	2	15,117	14,459	657
(除く国債等債券損益) = コア業務粗利益	3	(14,904)	(14,390)	(514)
資金利益	4	13,613	12,454	1,158
役務取引等利益	5	1,590	1,925	△ 334
その他業務利益	6	△ 86	79	△ 166
(うち国債等債券損益)	7	(212)	(69)	(143)
経費 (除く臨時処理分)	8	10,469	10,263	205
人件費	9	5,388	5,153	235
物件費	10	4,463	4,629	△ 166
税金	11	616	480	136
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	12	4,648	4,196	452
除く国債等債券損益 = コア業務純益	13	4,435	4,126	308
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 16	△ 191	175
業務純益	15	4,664	4,387	277
臨時損益	16	982	196	786
②不良債権処理額	17	227	485	△ 257
貸出金償却	18	0	0	△ 0
個別貸倒引当金繰入額	19	319	394	△ 75
バルクセール売却損	20	3	3	0
その他の不良債権処理額	21	△ 95	87	△ 182
③貸倒引当金戻入益	22	—	—	—
④償却債権取立益	23	32	4	27
株式等関係損益	24	1,187	742	445
その他臨時損益	25	△ 10	△ 64	54
経常利益	26	5,647	4,583	1,063
特別損益	27	△ 314	5	△ 320
税引前四半期純利益	28	5,332	4,589	742
法人税、住民税及び事業税	29	1,592	1,290	301
法人税等調整額	30	299	396	△ 97
法人税等合計	31	1,891	1,687	204
四半期純利益	32	3,440	2,901	538

5,500

3,500

与信関係費用 (①+②-③-④)	33	179	289	△ 110
------------------	----	-----	-----	-------

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用 + 金銭の信託見合費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)
 3. 業務純益 = 業務粗利益 - 経費 (除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額

○ 北都銀行

平成28年3月期第3四半期の経常収益は前年同期比23億91百万円増加の198億98百万円（前年同期比13.6%増加）となりました。
 経常利益は前年同期比16億3百万円増加の53億49百万円（同42.7%増加）、四半期純利益は前年同期比5億10百万円増加の44億14百万円（同13.0%増加）となりました。

(単位：百万円)

(参考)
 平成28年3月期
 通期予想値

		平成28年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (A)	平成27年3月期 第3四半期 (9カ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)	
経常収益	1	19,898	17,506	2,391	
業務粗利益	2	15,597	14,797	799	
(除く国債等債券損益) = コア業務粗利益	3	(14,654)	(13,903)	(751)	
資金利益	4	12,377	11,683	693	
役務取引等利益	5	2,431	2,234	196	
その他業務利益	6	788	879	△ 90	
(うち国債等債券損益)	7	(942)	(894)	(47)	
経費 (除く臨時処理分)	8	10,693	11,160	△ 467	
人件費	9	5,044	4,881	163	
物件費	10	5,012	5,576	△ 563	
税金	11	635	703	△ 67	
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	12	4,903	3,636	1,266	
除く国債等債券損益 = コア業務純益	13	3,961	2,742	1,219	
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 284	△ 266	△ 17	
業務純益	15	5,187	3,903	1,284	
臨時損益	16	161	△ 157	319	
②不良債権処理額	17	1,279	591	687	
貸出金償却	18	—	—	—	
個別貸倒引当金繰入額	19	1,300	601	698	
バルクセール売却損	20	—	△ 6	6	
その他の不良債権処理額	21	△ 21	△ 3	△ 17	
③貸倒引当金戻入益	22	—	—	—	
④償却債権取立益	23	97	146	△ 49	
株式等関係損益	24	1,415	269	1,146	
その他臨時損益	25	△ 72	17	△ 89	
経常利益	26	5,349	3,746	1,603	7,400
特別損益	27	△ 34	9	△ 43	
税引前四半期純利益	28	5,315	3,755	1,559	
法人税、住民税及び事業税	29	720	42	677	
法人税等調整額	30	180	△ 191	371	
法人税等合計	31	900	△ 148	1,049	
四半期純利益	32	4,414	3,904	510	6,300
与信関係費用 (①+②-③-④)	33	898	178	720	

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用 + 金銭の信託見合費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)
 3. 業務純益 = 業務粗利益 - 経費 (除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額

2. 金融再生法開示債権の状況【単体】

◆ 荘内銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成27年3月末比0.14ポイント低下の2.52%（平成26年12月末比0.04ポイント低下）となりました。
 同行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率は2.36%となります。

◆ 北都銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成27年3月末比0.04ポイント低下の1.88%（平成26年12月末比0.24ポイント低下）となりました。

(1) 2行合算

(単位：百万円)

	平成27年12月末	平成26年12月末	平成27年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,710	6,238	6,887
危険債権	22,326	22,418	23,803
要管理債権	10,245	12,976	10,259
合計 (A)	40,282	41,633	40,950
正常債権	1,767,254	1,720,342	1,720,548
総与信 (B)	1,807,536	1,761,976	1,761,499
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.22%	2.36%	2.32%

(注) 1. 上記計数は、(2)に記載の各子銀行の計数を単純合算しております。
 2. 荘内銀行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率（2行合算）は2.14%となります。

(2) 子銀行

○ 荘内銀行

(単位：百万円)

	平成27年12月末	平成26年12月末	平成27年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,437	3,844	4,561
危険債権	10,980	9,180	11,455
要管理債権	9,171	11,189	9,271
合計 (A)	24,590	24,214	25,288
正常債権	950,611	918,266	924,308
総与信 (B)	975,201	942,481	949,596
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.52%	2.56%	2.66%

(注) 1. 上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。
 2. また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、荘内銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。
 なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分について直接償却（部分直接償却）は実施しておりません。

○ 北都銀行

(単位：百万円)

	平成27年12月末	平成26年12月末	平成27年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,272	2,394	2,326
危険債権	11,346	13,237	12,348
要管理債権	1,073	1,787	987
合計 (A)	15,692	17,418	15,662
正常債権	816,642	802,075	796,239
総与信 (B)	832,335	819,494	811,902
総与信に占める割合 (A)÷(B)	1.88%	2.12%	1.92%

(注) 1. 上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の categoriaにより分類しております。
 2. また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、北都銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。
 なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額（部分直接償却）しております。

3. 時価のある有価証券の評価差額【連結】【単体】

(単位：百万円)

		平成27年12月末				平成27年3月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損	うち益		うち損		
フィデアHD 【連結】	その他有価証券	1,034,779	36,277	39,196	2,919	994,376	46,736	47,234	498
	株式	24,544	8,754	9,028	273	30,677	10,765	10,843	78
	債券	672,277	14,623	14,731	107	706,820	13,137	13,345	207
	その他	337,957	12,898	15,437	2,538	256,879	22,833	23,046	212
2行合算 【単体】	その他有価証券	1,034,712	36,115	39,037	2,922	994,233	46,286	46,939	653
	株式	24,477	8,744	9,019	275	30,533	10,709	10,789	79
	債券	672,277	14,675	14,782	107	706,820	13,207	13,415	207
	その他	337,957	12,695	15,234	2,538	256,879	22,369	22,735	366
荘内銀行 【単体】	その他有価証券	533,008	22,071	23,996	1,924	500,161	26,559	26,947	387
	株式	15,206	6,098	6,322	224	17,669	6,733	6,797	64
	債券	321,860	8,649	8,725	76	338,833	7,780	7,917	136
	その他	195,941	7,323	8,947	1,624	143,658	12,045	12,232	187
北都銀行 【単体】	その他有価証券	501,704	14,043	15,041	997	494,072	19,726	19,992	265
	株式	9,271	2,645	2,697	51	12,864	3,976	3,991	14
	債券	350,416	6,025	6,057	31	367,986	5,426	5,498	71
	その他	142,016	5,372	6,286	914	113,220	10,323	10,502	178

- (注) 1. 有価証券について記載しております。
 2. 「評価差額」及び「評価損益」は、取得原価（償却原価適用後、減損処理後。）と時価との差額を計上しております。
 3. 株式については、決算日前1カ月の市場価格の平均に基づいて算定された価額を、また、それ以外については、決算日における市場価格等に基づく価額を時価としております。
 4. なお、満期保有目的の債券及び時価のある子会社・関連会社株式は該当ありません。

4. 預金、貸出金等の状況【単体】

(1) 預金等（含む譲渡性預金）

- ◆ 荘内銀行の平成27年12月末における預金等の残高は平成27年3月末比769億円増加の1兆3,885億円（平成26年12月末比984億円増加）となりました。
- ◆ 北都銀行の平成27年12月末における預金等の残高は平成27年3月末比1,030億円増加の1兆2,952億円（平成26年12月末比411億円増加）となりました。

(単位：百万円)

		平成27年12月末	平成26年12月末	平成27年3月末
2行合算	預金等（含む譲渡性預金）	2,683,809	2,544,192	2,503,882
	うち個人預金	1,920,639	1,812,941	1,831,421
荘内銀行	預金等（含む譲渡性預金）	1,388,568	1,290,091	1,311,665
	うち個人預金	1,008,045	929,224	953,345
北都銀行	預金等（含む譲渡性預金）	1,295,241	1,254,101	1,192,216
	うち個人預金	912,593	883,716	878,075

(2) 貸出金

- ◆ 荘内銀行の平成27年12月末における貸出金の残高は平成27年3月末比222億円増加の9,571億円（平成26年12月末比313億円増加）となりました。
- ◆ 北都銀行の平成27年12月末における貸出金の残高は平成27年3月末比201億円増加の8,211億円（平成26年12月末比128億円増加）となりました。

(単位：百万円)

		平成27年12月末	平成26年12月末	平成27年3月末
2行合算	貸出金	1,778,278	1,734,087	1,735,932
	うち消費者ローン残高	618,035	585,928	593,337
	うち住宅ローン残高	558,510	527,410	533,697
荘内銀行	貸出金	957,151	925,809	934,905
	うち消費者ローン残高	414,537	387,558	394,601
	うち住宅ローン残高	390,948	365,040	371,443
北都銀行	貸出金	821,127	808,278	801,026
	うち消費者ローン残高	203,497	198,369	198,735
	うち住宅ローン残高	167,561	162,369	162,254

5. 投資信託、公共債及び生命保険の預かり残高【単体】

- ◆ 荘内銀行の平成27年12月末における投資信託の預かり残高は平成27年3月末比49億56百万円減少の454億73百万円（平成26年12月末比67億92百万円減少）となり、生命保険の預かり残高は平成27年3月末比19億8百万円増加の1,211億98百万円（同13億97百万円増加）となりました。
- ◆ 北都銀行の平成27年12月末における投資信託の預かり残高は平成27年3月末比49億21百万円減少の412億30百万円（平成26年12月末比37億3百万円減少）となり、生命保険の預かり残高は平成27年3月末比43億96百万円増加の1,364億30百万円（同26億85百万円増加）となりました。

(単位：百万円)

		平成27年12月末	平成26年12月末	平成27年3月末
2行合算	投資信託	86,703	97,199	96,581
	公共債（国債等）	14,199	22,721	20,416
	生命保険	257,628	253,545	251,323
	一時払い個人年金保険	75,002	86,624	84,282
	一時払い終身保険	182,626	166,920	167,041
荘内銀行	投資信託	45,473	52,265	50,430
	公共債（国債等）	8,042	9,296	8,850
	生命保険	121,198	119,800	119,289
	一時払い個人年金保険	24,730	31,964	31,085
	一時払い終身保険	96,467	87,835	88,203
北都銀行	投資信託	41,230	44,933	46,151
	公共債（国債等）	6,157	13,425	11,565
	生命保険	136,430	133,744	132,034
	一時払い個人年金保険	50,271	54,659	53,196
	一時払い終身保険	86,158	79,085	78,837

(注) 生命保険は、平成27年6月末より、販売累計額に代えて期末有効契約に係る累計受入保険料を記載しております。また、平成26年12月末及び平成27年3月末の記載も同様に変更しております。

平成 28 年 2 月 9 日

各 位

フィデアホールディングス株式会社
株式会社 荘内銀行
株式会社 北都銀行

平成 28 年 3 月期（平成 27 年度）第 3 四半期 決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアHD」）は、平成 28 年 3 月期（平成 27 年度）第 3 四半期連結業績等の概要と、株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

この第 3 四半期は、第 2 次中期経営計画の総仕上げとして、コーポレートガバナンス・コードに対応するフィデアグループのコーポレートガバナンス原則を制定するとともに、流動性リスクやマーケットリスクなど、リスク管理の更なる高度化を進めてまいりました。また、地元との関わりが深い都市圏への店舗網拡大や地方創生に貢献する地域プロジェクトの支援など、引続き地域経済の活性化に取り組んでおります。

記

1. フィデアHD

(1) 平成 28 年 3 月期第 3 四半期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）連結業績

業務純益、コア業務純益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、有価証券利息配当金の積み上げによる資金利益の増加や、経費の減少等により前年同期比増益。第 3 四半期の経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、既往最高益を昨年に続き更新。

連結自己資本比率（国内基準）は、転換社債型新株予約権付社債の普通株式への転換も加わり、平成 27 年 3 月末比 0.64 ㊦上昇し 9.76%。（第 3 四半期末の自己資本比率は今期より開示。）

		番号	フィデアHD	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【連結】	損 益	経常収益	(1) 42,286 百万円	37,734 百万円	4,552 百万円	12.0 %
		業務純益	(2) 10,667 百万円	8,830 百万円	1,836 百万円	20.7 %
		コア業務純益*	(3) 9,150 百万円	7,347 百万円	1,802 百万円	24.5 %
		経常利益	(4) 11,718 百万円	9,101 百万円	2,616 百万円	28.7 %
		親会社株主に帰属する四半期純利益	(5) 8,367 百万円	7,355 百万円	1,012 百万円	13.7 %
	主要勘定残高 (末 残)	総資産	(6) 29,860 億円	28,043 億円	1,816 億円	6.4 %
		預金等(譲渡性預金を含む)	(7) 26,756 億円	25,238 億円	1,517 億円	6.0 %
		貸出金	(8) 17,618 億円	17,179 億円	438 億円	2.5 %
		有価証券	(9) 10,375 億円	9,505 億円	869 億円	9.1 %
	自己資本比率	連結自己資本比率(国内基準)	(10) 9.76 %	—	—	
【合算】	不 良 債 権	金融再生法開示債権額	(11) 40,282 百万円	41,633 百万円	△ 1,350 百万円	△ 3.2 %
		総与信に占める割合	(12) 2.22 %	2.36 %	△ 0.14 %	

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額 (以下、同様。)

(2) 平成 28 年 3 月期（平成 27 年度）業績予想

フィデアHD（連結）、荘内銀行（単体）、北都銀行（単体）の 3 社とも平成 27 年 11 月 11 日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

		番号	通期		
			前期比	同増減率	
フィデアHD(連結)	経 常 利 益	(13)	13,500 百万円	2,634 百万円	24.2 %
	親会社株主に帰属する 当期純利益	(14)	10,000 百万円	2,342 百万円	30.5 %

(次ページへ)

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

IRグループ 大石 (TEL:022-290-8800)、佐藤 (TEL:023-626-9006)、市田 (TEL:018-833-4211)

2. 荘内銀行

(1) 平成 28 年 3 月期第 3 四半期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）単体業績

経常収益は、有価証券利息配当金の積み上げによる資金運用収益の増加等により前年同期比増収。資金利益の増加が牽引し、業務純益、コア業務純益、経常利益、四半期純利益はいずれも前年同期比増益。四半期純利益は、昨年に引き続き既往最高益を更新。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に前年同期末比 984 億円（7.6%）増加の 1 兆 3,885 億円。貸出金残高は、個人ローン、事業性を中心に前年同期末比 313 億円（3.3%）増加の 9,571 億円。

単体自己資本比率(国内基準)は、内部留保の積み上げや増資により、平成 27 年 3 月末比 0.13 ㊦上昇し 10.31%。(第 3 四半期末の自己資本比率は今期より開示。)

		番号	荘内銀行	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【単体】	損 益	経常収益	(15) 20,713 百万円	18,602 百万円	2,110 百万円	11.3 %
		業務純益	(16) 4,664 百万円	4,387 百万円	277 百万円	6.3 %
		コア業務純益	(17) 4,435 百万円	4,126 百万円	308 百万円	7.4 %
		経常利益	(18) 5,647 百万円	4,583 百万円	1,063 百万円	23.1 %
		四半期純利益	(19) 3,440 百万円	2,901 百万円	538 百万円	18.5 %
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(20) 13,885 億円	12,900 億円	984 億円	7.6 %
		貸出金	(21) 9,571 億円	9,258 億円	313 億円	3.3 %
		有価証券	(22) 5,345 億円	4,674 億円	670 億円	14.3 %
	自己資本比率	自己資本比率(国内基準)	(23) 10.31 %	—	—	—
	不良債権	金融再生法開示債権額	(24) 24,590 百万円	24,214 百万円	375 百万円	1.5 %
総与信に占める割合		(25) 2.52 %	2.56 %	△ 0.04 %	—	

(2) 平成 28 年 3 月期（平成 27 年度）業績予想

		番号	通期		
				前期比	同増減率
荘内銀行(単体)	経常利益	(26)	5,500 百万円	487 百万円	9.7 %
	当期純利益	(27)	3,500 百万円	486 百万円	16.1 %

3. 北都銀行

(1) 平成 28 年 3 月期第 3 四半期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）単体業績

経常収益は、有価証券利息配当金の積み上げによる資金運用収益の増加等により前年同期比増収。資金利益や役員取引等利益が増加したほか、物件費を中心とした経費の減少等により、業務純益、コア業務純益、経常利益、四半期純利益はいずれも前年同期比増益。四半期純利益は、昨年に引き続き既往最高益を更新。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に前年同期末比 411 億円（3.2%）増加の 1 兆 2,952 億円。貸出金残高は、個人ローン、事業性を中心に前年同期末比 128 億円（1.5%）増加の 8,211 億円。

単体自己資本比率(国内基準)は、内部留保の積み上げや増資により、平成 27 年 3 月末比 1.41 ㊦上昇し 12.17%。(第 3 四半期末の自己資本比率は今期より開示。)

		番号	北都銀行	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【単体】	損 益	経常収益	(28) 19,898 百万円	17,506 百万円	2,391 百万円	13.6 %
		業務純益	(29) 5,187 百万円	3,903 百万円	1,284 百万円	32.8 %
		コア業務純益	(30) 3,961 百万円	2,742 百万円	1,219 百万円	44.4 %
		経常利益	(31) 5,349 百万円	3,746 百万円	1,603 百万円	42.7 %
		四半期純利益	(32) 4,414 百万円	3,904 百万円	510 百万円	13.0 %
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(33) 12,952 億円	12,541 億円	411 億円	3.2 %
		貸出金	(34) 8,211 億円	8,082 億円	128 億円	1.5 %
		有価証券	(35) 5,031 億円	4,916 億円	115 億円	2.3 %
	自己資本比率	自己資本比率(国内基準)	(36) 12.17 %	—	—	—
	不良債権	金融再生法開示債権額	(37) 15,692 百万円	17,418 百万円	△ 1,726 百万円	△ 9.9 %
総与信に占める割合		(38) 1.88 %	2.12 %	△ 0.24 %	—	

(2) 平成 28 年 3 月期（平成 27 年度）業績予想

		番号	通期		
				前期比	同増減率
北都銀行(単体)	経常利益	(39)	7,400 百万円	2,460 百万円	49.8 %
	当期純利益	(40)	6,300 百万円	2,272 百万円	56.4 %

以上